

移住施策の取り組み



①、②移住者交流会の様子（7月24日）
③、④東京で実施した移住相談会（6月11日）

市では平成28年度から、「移住・交流」を重点施策と位置づけ、当時、県内初となる移住に関する専門部署を設置しました。以降、移住相談は毎年増加し、6年間で延べ5385件の相談があり、206世帯422人が伊賀市に移住しました。

三重県の調べによると、令和3年度に県・市町の移住施策を利用した県外からの移住者は541人です。このうち138人が伊賀地域への移住で、県全体の約25%を占め、県内で最多となっています。

いち早く移住・交流施策に取り組み、「移住コンシェルジュ」を設置したことで、移住相談件数が増加し、移住先に伊賀市が選ばれる結果につながっています。

今後とも丁寧な移住相談などを行うとともに、移住した人が地域に溶け込み活躍できるよう継続したサポートを行います。

コロナ禍によるテレワーク（在宅勤務）の普及などにより、地方移住への関心はますます高まっています。このような状況から、今年度も移住検討者に移住先のひとつとして選ばれるように、伊賀市の魅力を身近に感じてもらえるような情報発信や移住後のミスマッチを軽減するための取り組みなどを行っていきます。

今年度の取り組み

☆移住コンシェルジュのご案内
「ゆる〜っと伊賀巡り」

伊賀市への移住を検討中で、伊賀市を見学したい人向けに市内を案内する一日移住体験ツアーを実施しています。移住コンシェルジュが見学したい場所などを聞き取り、それぞれの希望に沿ってご案内します。



移住希望地域の小学校の校長先生と面談

☆おためし移住施設登録制度・おためし移住施設利用促進
助成制度

移住に関する体験プログラムを提供する市内宿泊施設を「伊賀市おためし移住施設」として登録できます。

登録すると、登録証を交付するとともに、市ホームページに掲載し、移住コンシェルジュが伊賀市への移住を検討しているおためし移住希望者におすすめます。

また、この「伊賀市おためし移住施設」に宿泊し、体験プログラムを体験した移住検討者に、おためし移住施設利用促進助成金を交付します。交付には要件がありますので、詳しくは市ホームページをご覧ください。



おためし移住施設登録第1号の「ゲストハウス DAIJI」

☆伊賀市移住促進PR動画制作

田舎暮らしに興味・関心を持ち始めた人をターゲットに、伊賀市を知ってもらい、伊賀市の魅力を感じ、移住先の一つとして選ばれるような動画を制作し、発信します。

6月1日より新たな移住コンシェルジュとして就任した鈴木笑子さんに聞きました。

問 なぜ移住コンシェルジュになろうと思いましたが？

私はまず、コンシェルジュという言葉に惹かれました。お客様の役に立てる仕事、喜んでいただける仕事、人と話すことが好きな私にとってはピッタリな仕事だと感じました。伊賀地域への移住者数が県内1位ということにまず驚き、また移住後起業されている人も多く、あのお店も移住された人が経営しているんだ、と驚きました。

私の住む地域でも空き家が増えてきていて、そういった家に再び灯りを蘇らせる仕事はやりがいがあると思っています。

問 どんな移住コンシェルジュになりたいですか？

4歳から数十年伊賀市に住んでいます。伊賀市の文化・歴史について知らないことも多く、今更ですが、私が暮らしてきた伊賀市の魅力を私なりに勉強しています。その魅力を移住を検討されている人たちにお伝



移住コンシェルジュの鈴木笑子さん（左）と峠美晴さん（右）

先輩コンシェルジュとしてがんばります

皆さん、よろしく
お願いします

えし、伊賀市を好きになってもう、移住を前向きに考えていただくお手伝いができる、そんな移住コンシェルジュになることが目標です。

皆さんに、伊賀市に住んで良かった、移住コンシェルジュのサポートが心強かった、と言っていたただけの移住コンシェルジュになれるよう精進していきます。

【問い合わせ】

地域創生課
☎22・96800
FAX 22・9672
✉chisou@city.iga.lg.jp

